

話題満載

第22回たけのこまつり

―旬をもとめ 人集う―

4月19日、初夏の香りを感じさせるような晴天の中、南部町役場本庁舎前会場で「第22回たけのこまつり」が開催されました。

生たけのこを目当てに県内外から約3万人の方が訪れました。朝早

くから生たけのこを買い求めて来ている人や、各種模擬店、ステージショーや竹の不思議展、体験コーナーを楽しみに訪れた人で開始早々から大賑わいとなりました。



午前9時、町内中学校吹奏楽部による合同演奏で華やかに幕を明け、佐野勝行会長がお祭りの開会宣言を行いました。

ステージでは、太鼓の演奏や、マーチングバトンなど町内有志による熱演のほか、ちびっ子大好きシンケンジャーショーやシャボン玉ショー、歌謡ショーにもものマネショーと、楽しいイベントが次々に催され、ステージ周り是一日中多くの人でにぎわっていました。

たけのこまつりの顔はなんと言っても「たけのこ」。今年は、豊作だった

昨年の裏年ということ、たけのこも中々顔を出してくれませんでした。それでも、町内の皆様のご協力で、県内外の多くの方々に「たけのこ」を購入していただくことができ、南部町の味を広めることができました。

今年の模擬店も大盛況。閉会前に完売となるお店がたくさんありました。

体験コーナーでは、町内特産の竹を使って、竹の風車や竹とんぼづくり体験を行いました。ちびっ子だけでなく、大人も真剣になって竹と格闘していました。

町内中学校体験学習

「たけのこ堀り」

4月下旬、町内の中学3年生を対象に「たけのこ堀り」体験学習が町の産業振興課の主催で行われました。

町内にあるたけのこ園のご協力により毎年行われ、4月27日には、南部中学校の生徒が使い慣れない鍬を手に新鮮なたけのこを収穫しようと一生懸命がんばっていました。

町の名産「たけのこ」のように子どもたちもすくすくと健康に育ってほしいと願っています。



春の交通安全

正しい交通マナーを学ぼう



春の全国交通安全運動が、4月6日から15日までの10日間実施されました。運動に先駆けて4月3日に国道52号道の駅「とみざわ」前で街頭指導が、初日の4月6日には、内船駅前で黄色い羽根の配布が、南部警察署、南部交通安全協会、安全運転管理者協議会、交通安全母の会等の協力により実施されました。

また町内各小中学校でも新入学児童を対象に交通安全教室が行われ、道路の正しい歩き方や横断のし方を学習しました。これを機会に交通ルールを守り正しい交通マナーの実践を心がけましょう。

100歳おめでとう。

この4月は、南部町で100歳になられた方が3人もいらっしゃいました。まさに「長生きの町 南部町」と県内外にも誇れる喜ばしいことに、町長および社会福祉協議会会長などがそれぞれのお宅に訪問して、お祝い品と花束をお届けし、「長寿のお祝いをしました。」

芹澤いしさん（福士）は、明治42年4月8日生まれ。現在は、娘さんお孫さんと三人暮らしです。最近少し足腰が弱くなっていますが、まだまだ声も大きく張りがあり、おうちで元気に過ごされています。



芹澤いしさん（福士）

山田とみ江さん（南部）は、明治42年4月21日生まれ。南部町で生まれ、南部町に住み続けて100年。南部町の100年の移り変わりを知るとみ江さん、今でも7人の大家族に囲まれて、おうちで元気に過ごされています。



山田とみ江さん（南部）

遠藤まきさん（成島）は明治42年4月25日生まれ。今でもアルファードターへ行くときのお弁当は自分で作ります。新聞を読むのも好きで、読み出すと長時間読んでいるそうです。内臓は丈夫で何でも食べられるのが自慢。足はちよつと痛くなつたけれど、今もおうちで元気に過ごされています。



遠藤まきさん（成島）

これからもお元気で長寿を重ねられますようお祝い申し上げます。